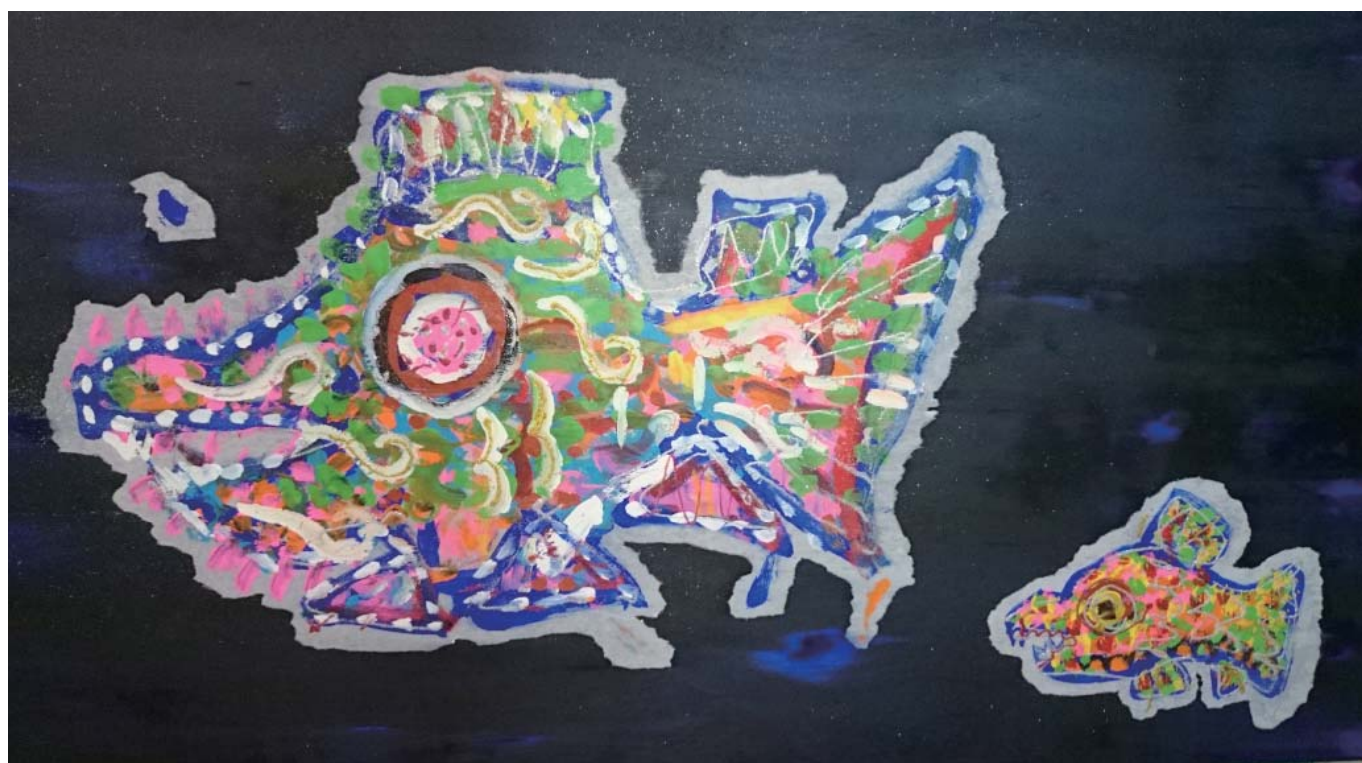


プリズム

一筋の光を七色の虹に変える、人は皆プリズム



CONTENTS

- 表紙 アート作品・制作風景写真
- P2, 3 わくわくマイルーム
- P4 特集 グランドデザイン始動
- P5 つむぐ -お心主義実践日記-
- P6 ブレークスルー
- P7 こちら明星学園通り一丁目
- P8 輪・和・わ! インフォメーション



表紙作品紹介



日中活動『エイブルアート』での共同作品。鮭をモチーフにそれぞれの色づかい、筆づかいで色彩豊かな新しい『魚』が生まれました。

わくわく マイルーム



こんにちは!月組の朝比奈孝恵です!
最近は笑えるようになったんだ。

おしゃれ

私には似合わないって思っていたけれど、毎日スカート履いて、みんなに「かわいい」って言ってもらうと、なんだか嬉しいんだ。おしゃれをしてみんなと一緒に大好きなパスタを食べるんだ。



旅行

出かける時の、おしゃれは当たり前なんだ。今年のクラス旅行は、ディズニーランドへ行ってきたよ。ミッキー、ミニー、プルートが間近に来て、思わず沢山笑っちゃったよ。



仕事

仕事をして、貯めたお金でまたおしゃれをするよ。



応援団からのメッセージ

孝恵さんが、こんなにセンスが良かったなんて、お母さん負けそう。なになに「親に似てるんだもん」だってえ。フレフレ孝恵～



伴走者の声

孝恵さんと出逢って3年が経ちます。お部屋にいることが多かった孝恵さんがおしゃれを通じ、大勢の中に入ったり笑顔が沢山見られることは職員にとっても嬉しいです。これからも増々おしゃれに磨きをかけて素敵な女性でいて下さい。

担任 吉澤恵子



章さん エピソード①

普段は物静かでキーボードや鯉のぼりが好きな章さんですが、ある時食事を全く食べない時がありました。体調が悪いのかな？嫌いなものなのかな？と思って様子を見ていましたが、どんな好物を用意しても頑として食べようとしません。理由は意外な所にありました。お父さんが体調を崩して入院していたのです。「自分がたくさん食べて体重が増えたら、お父さんお母さんの介助が大変になる」両親の介助が楽になるように、食事を摂らず自分の体重を減らそうとしていたのです！

そのことに気づいて、両親から章さんに話してもらいました。「ありがとう。お父さん、お母さんを助けてくれていたんだね。自分にできる事を精一杯しようとしてくれていたんだね。でもお父さんはもう大丈夫だからね。」両親の元気な声を聞いてやっと食事を食べることが出来た章さんでした。そんな心優しい章さんです。

こんにちは！
雪組西棟の藤森 章です！



章さん エピソード②

章さんの大好きなのはキーボードを弾くことです。

普段から居室でお母さんからのプレゼントであるキーボードを弾いて練習をしています。

明星ではその人の「夢プラン」を描いて夢を叶えるお手伝いをしているのですが、章さんの「夢プラン」は「キーボードで演奏会をすること」でした。去年のクリスマス会の時、仲間の T さんが歌を歌い、章さんはお母さんと一緒にキーボードで演奏をしてくれました。その時の嬉しそうな表情は忘れられませんね。



「つなぐ」両親からのメッセージ

章が一番期待している家族とのふれあいは、今日までその思いに応えてきたと自負していますが、昨今は加齢のため体調に不都合が生じ内容が薄くなってきたのは事実です。以前園長先生から「順縁」のお話を聞きましたが、今まさに直面している感じです。

私が万が一の時、家族との接点をつなぐ仕組みを父母と姉夫婦で考えています。訪園方法、資金、宿泊など学園を通して最低限度の一線を保ちながら、より深くとの思いで一杯です。必ず実行することを約束しますから、安心して学園生活を送ってください。

伴走者の声

藤森さんは、保護者として学園の基礎を築いてきた方でもあります。章さんへのメッセージですが、これからの学園を支える「兄弟世代」への期待と、章さんへの深い思いを感じますね。章さんの意志が強い性格はお父さん譲りだったんですね。

担任 正村美千枝

みんな幸せになりたい あなたも、私も ～たくさんの応援団がいる街～

平成26年4月より10年構想委員会を設置し勉強会の実施、日中活動、GHとワーキンググループを立ち上げて様々な視点から検討を重ね10年後の構想を練ってきました。そして平成27年4月に出来上がった構想の骨格を成す大きな柱について、紹介したいと思います。

1. 日中活動支援

日中活動の場として、ひとりひとりがやりたいことを見つけ主役になれるプログラム、夢やいきがいをを見つけ、叶える場を作っていくことを基本コンセプトとしています。日中活動の中には、クラブ活動やアート活動等を通して、地域の中で発表の場や展覧会等の企画など地域交流が進み、『結いの社会』実現を目標にしています。

2. GH支援

GHでは個々の障がい特性に応じた細やかな支援、週末、休日の継続的な支援、地域住民との日常的な関係と信頼の構築に向けた支援を行うことで、安心して自分らしい暮らしを実現することを目指します。明星学園・第二明星学園もバックアップしながら自分らしい暮らしを選択できる環境を作っていきます。



3. 全体として

この2つを大きな柱として、社会参加することで更に『10年後圏域の中にたくさんの応援団がいる街』を実現したいと思います。詳しくは学園ホームページをご覧ください。

つむぐ

お心主義実践日記

虹組 主任

溝口 隆伸



初めてスカート買いました！

今回紹介するY子さんは2年前に明星学園に入所されました。それまでは地域で生活されていたのですが、色々な経験が乏しいことがわかってきました。例えば学園の利用者さん毎年旅行に出掛けるのですが、Y子さんは「旅行に行った記憶がない」とのこと。また毎月外出を職員と一緒にするのですが、その時も「回転寿司なんて食べたことないなあ」「こんな御馳走食べたことないなあ」と初めてづくしの場面が

続きました。この間、Y子さんに1対1で付き添いながら社会経験の体験と並行して意思決定支援を行う中でY子さんに段々と自分に自信がついてきました。最近ですが、そのY子さんが「味噌汁はいらんainだけど・・・」と話してくれました。Y子さんには嫌なことがあった場面や、怒られる場面、周りから見られる場で「〇〇した、〇〇した・・・」と復唱を反復する行動が見られます。その味噌汁を飲まないと決めたことで「味噌汁飲んだ、味噌汁飲んだ」の反復が消えたのです。何を伝えたいかという、反復行動は病気ではないという事です。理解が進めばおのずと反復は必要ないのだということです。



初めて旅行に出掛けました！



余暇活動で料理を作ります！

そんなY子さんは最近では進んで作業に取り組んだり、「オシャレしたいな」と希望され、オシャレが最近のブームです。



チリ紙折りの作業をしています！

一口メモ

重度の障がいのある人であっても、必ず「意思」や「意向」、あるいは「考え」や「気持ち」があり、自分で決めることができます。それを大前提として、ではどうすれば意志の決定を支援できるか・・・と考えるのが「意思決定支援」のポイントといえます。

【引用文献】又村 あおい氏：平成25年（2013年）6月5日 全国知的障害者関係施設長等会議（第二分科会 資料より）

BREAK THROUGH

ブレイクスルー

私を変えたあの日、あの瞬間

☆心と心のお付き合い☆

M・Kさんの担任になった。当時は叩く、大きな声、外に出ていくそんな課題行動があった。何度も学園から出て行ってしまふMさんを迎えに行き泣いた。今のままじゃきっと私もMさんも変わらない。一緒に一歩踏み出してみよう！周りの仲間に「ちょっと大変だけど一緒にやろ！」と声をかけた。みんなで「Mさんの事好きだよ。大切に思っているよ」と伝える支援が始まった。時にはクラス会議で、辛い事を吐きだし、皆で涙を流した。杖をついていたが、手を繋ごう！と頼ってほしいことを伝えた。好きを伝えていくうちにだんだん、外へ出なくなった。笑って話が出る時間が出来た。1年経ち、クラス異動が決まったMさんから「先生との心と心のお付き合いは大きなお空よりも大切だった」と手紙をもらった。涙が止まらなかった。グググと胸が熱くなった。今その手紙が私を支えてくれている。



☆仲良しの手☆

Kさんの担任になった。Kさんは自分は悪い子・体が止まらない時には自分で「手を縛って！」と言う。入所してから大変な日が続き、少し諦めていた私。そんな時運動会で、Mさんに会った。穏やかな顔で競技に参加していた。手を振ってくれるその姿を見て、その当時一番一緒に頑張った職員と涙を流した。グググと胸が熱くなり……その瞬間から、「よし！」とまた気合が入った。「Kさんの手は悪い手じゃないよ。仲良しの手だ」「握手をしよう」「ハグをしよう」と伝えた。手が出てしまう時、一緒に泣きながらハグをした事もある。皆で伝え続け、心配な時に「抱っこ」「握手」とKさんから言ってくれるようになった。何よりも素敵な笑顔がたくさん見れた。20歳の成人式を学園でした時、グググと胸が熱くなった。



Mさん、Kさん、そして今まで出会ったメンバーさんのおかげで、沢山成長できた。この何回もの「グググ」とくる熱いものは、一緒にいた職員にしか分からないかもしれない。今クラスが違って、遠く離れていても辛い時私を助けてくれる、背中を押してくれる仲間がいる。私は幸せものだと思う。「心と心のお付き合いで一緒に幸せになれる」楽しいこと、悲しいこと、嬉しいこと、そんな気持ちを一緒に共感できる人になりたいと思う。「グググ」とくる熱いものをまた、メンバーさんと仲間と感ずることが出来るように、毎日笑顔で頑張りたいと思う。



支援員プロフィール★藤木由衣

平成20年 上田女子短期大学卒業
平成20年 明星学園入社（勤続年数7年）
星組主任・相談支援専門員

こちら明星学園通リーディング

連載その1

「あたしは20才！」

総園長 宮下 智

やす子さん（仮名・52才）が誕生日だという。「おめでとうございます。何才になったの？」彼女の答えは、この数十年ちっとも変わらない。決まって「20才」だ。こんな時に、「20才じゃないでしょ、確か50才くらいだと思うんだけど…」なんて会話は、彼女の感情をひどく傷つける。「本当にこの人はイヤらしい。私のことをおばあちゃん扱いして、もう二度と口をきいてやらん」、けんもほろろの対応だ。

やす子さんのことを<知的障がい者>で<自分の年齢が分からない人>と考えると実はこうなってしまう。<知的障がい者>であることと<算数が苦手な人>ということ、ちょっと頭の片隅に寄せて会話を進めると、実は新しい発見がある。そして、そんな会話の進め方が私は大好きだ。

「そうか、20才なんだ…、オシャレだものね」

彼女は、このところ本当にいろいろな服を買って、まるで20代の女の子のように着飾っている。

「あたし、前はなあ、オシャレをしたくてもできなかったんな…。髪の毛も長くできなかったし、染めることもできなかったし、スカートだってはけんかったんな…。できるようになって本当によかった。お化粧だって自由だしね。あたし、美人だら？」「今が一番幸せな。これからずっと長生きするんな。行きたいところもいっぱいあるしな…」

20才、それは彼女の心の年齢なのだ。彼女の中学校卒業以降の人生は壮絶だ。住み込みの就職、過酷な工場の仕事、心にかかる負荷と心の病、施設入所、さらには、リハビリテーションという名の訓練…、彼女の心の時計は、20才で止まっているのだ。夢と希望に満ちているはずの20代、その

夢と希望が果たせなかった人生遍歴の前に、彼女は心の時計を20才で止めたのだ。

そして今、彼女の心の時計はゆっくり動き始めている。失われた30年をゆっくり取り戻しているかのようだ。オシャレはもちろん、毎年欠かさないお墓参りで亡き父との会話、衰えた母との母の日などを通じた気遣いのやりとり等、全てが彼女の今まで成すことができなかった自己選択と自己決定を中心に進められている。

そういえば、数年前には、彼女はウェディングドレスを着て、写真館で写真を撮った。去年は、「飯田動物園」をクラス旅行先を選び、通常は小グループで出かける旅行スタイルだが、彼女は担任職員との一対一の旅行スタイルを希望し、今年度のクラス旅行先は「天竜舟下り」を選択している。今までの人生の、特に青春時代のぽっかり空いたパズルの一片一片を一つ一つ埋めていっているような作業だ。今彼女は人生をネガティブ色からポジティブ色に塗り直そうとしている。

そして、今彼女は、60才。最近、年齢を聞いても、もう20才とは言わない。心の年齢が前に進み始めているからだ。



輪・和・わ! インフォメーション

♡♡♡作ってます。売ってます。♡♡♡

日中活動の一環として「室内作業プログラム」を実施しています。生產品目は・アクリルたわし・髪留め・クッション・ヒノキ入浴剤・再生紙ハガキ・薪・織物



です。市役所や合同庁舎での販売、また11月の『明星きらめき祭』でも販売を予定しております。詳しくは明星学園までお問い合わせください。

♡♡♡結の街メール♡♡♡

ありがとうございます。

・紙と包装材料「株式会社 中村」様からトイレットペーパー200ロールを寄贈していただきました。



・長野県交通安全運動推進下伊那地方部様より交通安全運動啓蒙配布品として、また



飯田市様よりごみ処理施設建設の起工式記念品としてアクリルたわしを採用していただきました。

平成26年度 明星学園・第二明星学園苦情・虐待（人権侵害）に関する通報事案

①苦情

明星学園：8件 第二明星学園：4件

対応)・苦情受付書作成 ・苦情内容の検討 ・対応を検討(報告書作成) ・提起者に報告

②人権侵害・虐待を疑わせる通報

明星学園：0件

第二明星学園：4件(園内通報3件・市町村より1件)

*いずれも重大な事故には直結せず、虐待を断定するには至らず。ただし、人権侵害の可能性は高い事例も含まれ、改善策を検討、実施。

対応)・虐待防止委員会招集 ・園内虐待防止規定に沿って虐待防止委員による調査

・結果の考察 ・園長、主任会に対し結果報告 ・改善策の検討 ・通報者への報告

③園内虐待防止、人権侵害等防止に関する取組

- ・虐待防止委員会の設置(啓発、受付、調査、改善策の検討)
- ・人材育成委員会よりの定期的課題提供の実施(意識向上、啓発)
- ・研修会への職員参加
- ・園内研修会の実施
- ・各クラスで人権擁護、虐待防止に関わる強化週間の設定



社会福祉法人 明星会

障害者支援施設

明星学園(生活介護事業)(施設入所支援事業)

第二明星学園(生活介護事業)(施設入所支援事業)

〒399-2561 飯田市駄科2250

TEL 0265-26-9456 FAX 0265-26-9094

ホームページ <http://www.myojo-gakuen.or.jp>

メールアドレス myojo-gakuen-iida@clock.ocn.ne.jp

明星保育園

ホームページ <http://www.ans.co.jp/n/myoujou/home.html>

メールアドレス myoujou-408@juno.ocn.ne.jp

〒395-0807 飯田市鼎切石3928

TEL 0265-24-8020 FAX 0265-24-8008

グループホーム

ゆうみんりょう

有明寮

〒395-0051 飯田市高羽町2-5-1 TEL 0265-22-4977

ゆうせいりょう

有誠寮

〒395-0151 飯田市北方2139-5 TEL 0265-25-9033